

自転車の利用とその危険性

美幌町立美幌中学校 2年B組 中野渡 暉

僕は通学や部活での移動の際は自転車を利用しています。自転車は歩くよりも早く目的地に移動ができ、疲れません。子供にとって便利な移動手段ですが、危険が伴うことも事実です。

そこで僕がヒヤッとした体験についてお話しします。

ある日の部活帰り、自転車で歩道を走行していたら前方に数台の自転車が並列走行をしていたため横を通って追い越そうとしました。すると前方の自転車が僕の進行方向に寄ってきてしまい、自転車の前輪とスタンドが接触してぼくは車道の方に転倒するということがありました。幸い車は来ていなかったので大きな事故とはならずに済みましたが、「もし車がきていたら僕はどうなっていたか」と考えると今でもヒヤッとする出来事です。

そこで、自転車同士が接触する前に、僕や前方を走行していた自転車でできることはなかったかを考えてみます。まず僕にできることは、後方から追い越す際に自転車のベルを鳴らしたり、声を掛けて後方から追いつくことを伝えるべきであったと思います。後方から自転車がきていることを伝えていれば前方を走行している自転車も端に寄ってくれたのでは

ないかと考えました。

次に前方を走行していた自転車ができることは、並列走行はせずに周りの状況に注意することが必要ではないかと思えます。僕もそうですが友達と一緒にいると会話に夢中になったり、並行走行をしています。自分たちだけではなく、たくさんの方歩行者や自転車が通るということを忘れないことが大切ではないかと考えました。

今年の四月から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化となり、美幌町では小・中学生の希望者を対象にヘルメットを無償で提供されることになりました。なぜヘルメットの着用が努力義務となったかを調べてみると、「自転車事故で死亡した七割の人は頭部に損傷を負っているとされており、命を守るために至った」と記されています。

僕が通っている学校の生徒で交通事故に遭ったという話を聞いたことはありませんが、僕と同じようにヒヤッとした体験をした人はいると思います。「ケガをしなかったから大丈夫。」とは思わずに、普段自分がどのように自転車を利用しているか、危険な場所はないかなどもう一度考え、自転車・歩行者・車が安全に通行できる町になればよいと思います。